



1 明北小 図エクラブ『アーティスト・イン・スクール』 7月7日（火）



明北小の図エクラブで、『アーティスト・イン・スクール』が行われました。今回行われたのは、「自分をイメージした魚の作品を作り、漆（うるし）でペイントするワークショップ」です。当日は、漆芸作家を講師に、図エクラブ4名（5・6年生）がチャレンジしました。ねらい等は下記の通りです。

子どもたちがこの明科で暮らし、今を伸び伸びと生きていく姿を、作品として見せられないか。昔海であった土地というところから着想を得て、自分たちを魚に見立ててそれぞれに魚を作ってもらい、明科の豊かさの感じられる場所で撮影をするなどを考えている。作業工程としては、オフ祭りから引用して枝や竹細工等で灯籠のような魚の立体を作り、紙をはり、漆でペイントをイメージ。漆は時間が経つにつれて強固に定着していく特性を持ち、子どもたちがこの土地に足をつけ、たくましく育っていくさと、リンクする部分があるように感じている。

当日は、主として、自分でデザインを考え、魚の形になった立体に漆でペイントしました。

「デザイン決め」では、半紙に鉛筆で下書きをしながら、自分が描きたいデザインを考えていきました。そして、ある程度構想ができたところで、下書きしたデザインをもとに、大きな魚に鉛筆書きをしました。「漆ペイント」は、基本、赤・青・黄・緑に着色された漆を使用しますが、色を混ぜてペイントする子もいました。

子どもたちは、講師に相談をしながら作業を進め、笑顔で取り組んでいました。「以外と難しかったけど、メチャ楽しかった。」「絵の具と、匂いが全然違う。」と、完成した大きな魚を手にしながらか感想を述べていました。灯籠にしたら、一段と素敵でしょうね。

2 明北小 環境委員会企画『全校縦割り清掃』 7月6日(火)～10日(金)



明北小では、委員会企画や全校活動において、子どもたちの案による縦割り班での取組を実施しています。今回は、「縦割り班で清掃をして、縦割り班の仲を深め、学校をきれいにする」という目的で、全校縦割り清掃が行われました。2日(木)に、縦割り班ごと、班長の6年生を中心に清掃場所の確認や分担をしました。



各分担場所は少ない人数で掃除しなければなりません、一人一人、自分のやるべきことを意識して、一生懸命取り組んでいます。6年生を中心に、高学年は必要に応じて下級生に声をかけ、みんなで協力して掃除を進めています。気になったときは、雑巾のかけ方や、ほうきの使い方も具体的に教えている姿が見られました。

3 明北小1年生『地域の方々と学校花壇に花の苗植え』 7月9日(木)



明北小1年生は、潮(うしお)地域シニアクラブの方々と、花壇の花の苗植えを行いました。シニアクラブの方にお聞きすると、昭和の時代、明北小に花壇ができた時からずっと続いている1年生の恒例作業だそうです。

シニアクラブの方は、「子どもたちが通う学校の花壇であり、また、地域の花壇としての気持ちも大事にしてきたんです。」と笑顔で話されます。明南小も明科中もそうですが、地域の学校として、昔から愛されている学び舎で生活する子どもたちは幸せですね。